関も出てきました。紙を使 った上、個人情報保護の問 のやりとりが非常に多くな

の開催は無理』という

ットのSSLと呼ばれる方式

データはべて、二ハビ

戦して歳見交換を行う。

サービス担当者会議 当時は現場から 信ればならないが、予めプ は予防プランの情報を保約し かやりとりされる。

例えば、今後包括センター

「低」や「フロッピー」だと、

いけられ、広範な情報

門職の真ん中に位置

のさまざまな機関や

地域包括支援センター(以

支援事業所(以下、ケアマネ

しまうケースもあった。

介護保険が始まると紙で

情報を守る大切さ

を訴える山本社長

城連携型ニシステムを レンス機能を持つ「地

送付し、

介護保険施行当初から

からデータが複数重複して

情報入力の手順の不備

トラブルでデータが消えた 木機やサーバーの管理上の 1歳)を行っていたが、端 服折に書き換え一致させる 情報の連携にASP

多様な機能で業務を支援

見・防止などの権利擁護、図 地域の中核機関。つま ネジメント 包括的・継続的ケアマネジメ 上、包括センター)は、日総 相談支援、②虐待の早期発 ト支援、田公際学的ケアマ の機能を担う ると相撲されている。個人情 ステムとの連携に支降が起き を郵送や手渡しする手間がか 使えなくなったことでデータ 報保護法の関係でファクスが 事業所)に導入されているシ ーが回らない」との声も大き い。「事務負担で包括センタ こうした包括センターの筆

システムベンダーから発売さ れ始めている。大半はCDー 移在支援するソフトがいま名 髙類な初期投資が木甕で、イ の人が同じソフトも使える。 を経由して場所を描述す多数

ASPのサーバーは 的に管理される

援センターの業務支援のツールとしてASP(アプリケーション・サー

新・介護保険制度が動き始めた。新たに創設される地域包括支

四月、

ビス・プロバイダー)というサービスが注目されている。費用の安さや

運用の便利さのほか、多職種がネット上で情報を共有できる上に、課題

の情報セキュリティについてもいまは本格的な対策が講じられている

ソフトを選ぶにあたって、ASPは大事なキーワードになりそうだ。

の多い介護業界に適したシス 法改正が行われ、中小事業者 テムと言えるだろう。 しの負担はない。ひんばんに 括修正するので事業者側の

システムデザインを手掛けて

いる納富蔵治・日本システム

や経営コンサルタント、経営

数々の上場企業で経営顧問

Pサービスの時代です。

そのものを集中的・専門的に 配はない。しかも、サーバー ソコンが故障しても消える心 管理するインターネットデ パーで管理されるため、パ データはASP事業者のサ デザイン株式会社社長はころ 主要する 従来型のクラサバは、

を持った特定の人間以外はサ タセンター (TDC) に預け ればーロカードや身分証明書 ット利用で情報を共有するの システムとして設計されてい で、情報を守ることが必須条 ASPは、外部とインターネ るのでセキュリティが弱い 人使用のパソコンを活用する

パーに触れら ットはクラサバとほ比べ物に ンターネットは情報が漏れる 件で構築されています。『イ ならないほど安全です」 から危険。というのは一般論 リティを施されたインターネ で、ASPなら安心。セキュ

いう暗号化技術 により一般のイ コリティの面で る。データセキ れない状態にな ンターネットの D SSLL は、してはいけないツールな りするようなもの」だぞう。 個人情報を記載したやりとり 容が見られるハガキでやりと も無防備な通信網」で、 ちながに電子メールは

包括センター 給付管理も効率化

高齡者、医療·行政機

NPO団体など地

り、ケアマネジャーや

ランの委託先である居宅介護
込みを行わなければならな かる。さらに報酬請求表が 包括センターで再入力や読み 居宅事業所 システムが登場してきた。 ラインターネットを活用した ROM形式だが、ASPとい のがASP。インターネット トでも利用できるようにした インターネットを厳格ソフ 更やバージョンアップの際 ンターネットにアクセスでき る環境があれば月額料金を貨 ŧ る。法改正によるシステム変 担するだけですぐい利用でき ASP事業者がソフトを ンターネット利用に応るAS ような心能はない。 が、これからは個遊いなくイ を使ったシステムが主流です バー方式(以下、クラサバ) 現在はクライアントサ

SPを法人施設・事業所に 会 就会は、 今年一月にA 東京・武蔵野市の財団活 地域包括支援センターで再注目 わずにデータが守られた環境 したいと考えたのが導入のき で効率よく必要な情報を共有 したのがカナミックネットワ 200 このASPサービスを提供

で臂化し、サーイナロ

るには、サーバーを事業所と

上で贈引化する方法が一番の

サービス担当者会議も活用し 久美子常務班事。ネット上の っかけです」と同法人の天野 て効率化を図りたいと考えて 管理機能だけでなく、インタ 1ク (東京都品川区、 ーネットによるケアカンファ 5759・1175)。 柏付 03 た。ケアマネ、サービス担当 そうして生まれたのがサービ ならシステムの中で開催支援 ス担当者ネット会議の機能 ができないだろうかと考えた 声が上がっていました。それ のです。上同社・山本興社長

野から専用回線を使って二

斉に導くした。九年ほど

化と同期(データ内容を の老健施設での情報の共

きっ

かけは

サービス担当者会議

講じられたインターネット上 者に専用ーDとパスワードを 入力した情報を参加者が態 セキュリティ対策が 地域包括支援センター機能の仕組み

カナミックネットワー

ソフトがカバーする範囲 カナミックシステム こキュリティ対策済みインターネット 地域包括支援センター 器宅A **庭宅B 庭宅C** 予防 予助 予防 介護 介護 介護 實 所 情報關係 人力作業 0 0 0

ケアマネジャーが入力! 政権のほごマンク人/2 製造・手持ち必要なし ドキュメント管理は安全確実 セキュリティ対策済み インストールなし 影响対応

Cに預けている。「情報を守 は別の場所で管理し、ネット 情報共有 用品者会議 総示板方式で特徴と場所自由 議事総自動作成 金ですと山本社長は訴える 極能を通知、提供する。 だ、地域包括支援センター 同社は四月からこのシステ

ジャーがケアプラン、給付害 のケアマネ事業所のケアマネ を置された予防プラン委託先 に減ると思う」(山本社長 センターとケアマネ事業所か 桁付関連の業務量は三分の でそのまま閲覧できる。包括 題などを入力すれば、包括セ ンター側はその情報をネット 国保建への請求も可能だ。 センターから連携委託ID 「システムによって新予的

> カナミックの ASP介護

地域包括支援センターからケアマネジャー、サービス事業所までトータルサポート

カナミックならインターネットで情報共有をはかります。無駄な二度打ちなし! もちろんデータは全て暗号化された上でやりとり。だから安全で確実。

システム利用料金 初期費用:5万円~

月額費用:2万円~

株式会社力ナミックネットワー http://www.kanamic.net

〒141-0031 東京都品川区西五灰田8-1-14 最勝ビル9F

TEL.03-5759-1175 FAX.03-5759-1185

